

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		やっちくふるさと村維持管理事業		担当課	松) 産業建設課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	農政畜産係				活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	2	176000	ア	千円	7,073 7,073	7,073 34,218	7,000 25,922	7,000	7,000	7,000
(個別目標)	4	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料				イ								
(施策)	1	1	観光資源の整備、活用	対象	指定管理施設 やっちくふるさと村				成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	3 年度～ 7 年度 (5 年間)				ア	施設内での事故件数	件	0 0	0 0	0 0	0	0	0
(施策)	5	5	観光パワーアッププロジェクト						イ	施設に関する苦情件数	件	2 0	0 0	0 0	0	0	0
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	施設の維持管理を一括して委託することで、効率的かつ迅速な対応ができ、事業廃止となると管理費用の増大が懸念されることと、道の駅としての機能低下を招く。						
	財源内訳	千円		34,451													
	国県支出金	千円															
	その他特定財源	千円															
	一般財源	千円	7,073	111	27,844	7,518	7,518	7,518									
	事業費計 (A)	千円	7,073	34,562	27,844	7,518	7,518	7,518									
人件費	人	1,000	1,000	0,200	0,200	0,200	0,200	効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	公園・施設管理などを一体的に委託するため、事務効率、事業費の両方ともに効率化が図れる。							
所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	0,200	0,200	0,200	0,200										
人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	1,120	1,120	1,120	1,120										
(A) + (B)	千円	12,673	40,162	28,964	8,638	8,638	8,638	達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間	指定管理施設の維持管理については、適切に管理されており特に問題はない。 新型コロナウイルス感染症などの影響により自主事業が思うように展開出来ない状況下であるが、継続して施設運営してくれている。							
(2) 事業概要																	
事業目的	本施設は国土交通省の道の駅としての機能を有しているため、365日、24時間利用可能とするため、指定管理により施設の維持管理を委託する。																
事業内容	敷地内施設 (やっちくふるさと館、宿泊施設、ふれあい公園等) の管理運営を行う事業である。																
開始経緯	やっちくふるさと村 (やっちくふるさと館、宿泊施設、ふれあい公園等) の管理運営を行う事業である。本施設は、平成8年度から平成10年度にかけて、農水省の補助事業により整備され、第3セクター方式で管理を行ってきた。平成18年9月から指定管理者制度に移行し、公募により選定された(有)フォックスカンパニー (指定期間: R3.4~R8.3) が施設の維持管理と自主事業を行っている。																
実施状況	協定書により、施設の維持管理・修繕等を指定管理者へ委託することで、施設の適正な維持管理がなされている。																
成果	道の駅の機能としては、停滞させることなく施設利用者に提供出来ている。 施設の維持管理も契約どおり遂行されている。																
課題	経年劣化による施設の修繕費等の増加が懸念される。 新型コロナウイルス感染症の影響で、自主営業部門 (レストラン部門) を閉鎖しているが、未だ人手不足や物価高騰で経営的に厳しい状況が続いており、再開には相応の時間を要する。																
		改革改善案		指定管理料の増加を防ぐためにも、施設をメンテフリー化し、環境美化等の費用を抑える。													
		現状維持		改善		効率化		廃止終了									